

おかえり愛媛通信



vol.2

発行:愛媛ふるさと暮らし応援センター

平成21年2月

愛媛県内の
移住向け
物件サイト

えひめ空き家情報バンク

2009年4月運用スタート!

移住希望者の関心の高い「田舎物件」や「短期お試し住宅」など、愛媛県内の空き家情報を提供する「えひめ空き家情報バンク」を「e移住ネット」内に開設します。4月からの運用開始に先駆けて、ひと足お先に物件探しの流れをシミュレーションしてみましょう。

Step 1 まずは

えひめ 移住

「e移住ネット」へアクセスし、「空き家情報バンク」のバナーをクリック



Step 2 次に

「空き家情報バンク」のトップページで検索方法を選択

条件から検索

「海暮らし」「島暮らし」などのライフスタイルや、「賃貸」「売買」など、希望する条件を選んで検索



地図(マップ)から検索

土地勘のない方でも探しやすいよう、愛媛全体マップから希望エリアを選んで検索



※地図に観光情報も掲載してあるので周辺環境もイメージしやすい!

※さらに「間取り」や「家庭菜園付き」など、条件を絞り込んで検索

ココに注目!

短期お試し物件をピックアップ

移住先の環境や生活について手軽に体験できる「お試し住宅」をトップページにピックアップ。移住への第一歩として、実際にお試し物件に短期間滞在して、愛媛での暮らしを体感してみませんか!

Step 3 見つける見つける

興味のある物件を選んで詳細ページを表示

「こんな方におすすめ」欄で物件の特徴をチェック

外観、内装、間取りなど写真がいっぱい

学校や病院までの時間など生活情報も記載

空き家の周辺環境が分かる地図も表示



※サイト画像はすべてサンプルです。



海暮らし

理想の一軒家で 田舎暮らしを満喫

2008年に
兵庫県から
1ターン

はそい すずむ
細井 進さん (58歳)
南宇和郡愛南町在住



愛媛県の最南端に位置する愛南町は、黒潮踊る太平洋と宇和海に面した西日本屈指の磯釣りのメッカ。その愛南町で唯一の総合病院である県立南宇和病院の小児科部長として平成20年4月に着任した細井進先生は、趣味の磯釣りで通い慣れた愛南町に理想の住まいを見つけ、奥様と二人で移住を決意されました。

昔から釣りが趣味だった細井先生は、以前勤務されていた兵庫県では満足できる釣り場がなかったことから、いろいろ本を調べるうちに四国へ釣りに来るように。最初は高知に行っていたのですが、知人に連れてきてもらった愛南町で大物がよく釣れたこともあって印象に残っていました。それから休み



を利用して、月に1~2回訪れるようになり、そのうち、定年退職後はこちらに来てもいいかなあと思い始めました。

勤務先の病院まで車でわずか10分の距離にあるお住まいは、豊かな緑に包まれた広い敷地に、四季折々の花が咲く手入れの行き届いた庭と自家菜園が広がる、まさに団塊の世代の田舎暮らしの理想ともいえる環境に恵まれています。

土地を探し始めた当初、地元新聞ではこの地域の不動産情報がほとんど手に入りませんでした。たまたまインターネッ

トで現在のお住まいを見つけました。さっそく下見に訪れたところ、広い庭が気に入り、建物の中に入ることなくその日の内に契約をしました。釣りだけでいろいろな候補地はありましたが、畑もできる理想的な物件が見つかったことが、この地に移住を決めた最大の理由なのだとか。

契約した時点ですぐ移り住む気はなかったものの、月に1~2回庭のメンテナンスに訪れるようになると、広い庭だけ

に、たまに来るだけの手入れではとても追いつかないと感じ始めました。また、ちょうど現在の勤務先のポストに空きがあったこともあって、とんとん拍子で勤務先も決まり、当初考えていた定年後より、早く移住することになりました。

現在は、毎朝6時半に起床して趣味の庭仕事をしてから、目の前に広がる山並みと小鳥のさえずりの中で、家庭菜園で採れた新鮮な野菜を使った朝食を愉しむ心豊かな日々を送っています。

▼手入れの行き届いた庭



▶庭のヤマモモの果実を使ってジャム作りを楽しむ



▲建物のリフォームは、交流のあった釣りチームの大工さんに依頼

▲外來の看護師さんにおすすわけするほどの収穫に恵まれた家庭菜園

ひと足お先に
愛媛暮らしを
楽しんでいます。

私の移住体験談

島
暮らし

“農”業から“脳”業へ。 島ごとブランド化を目指して

2003年に
京都府から
1ターン

ふるかわ やすひろ
古川泰弘さん (39歳)
越智郡上島町岩城島在住



▼古川さんのホームページとブログはこちら
<http://www.k2.dion.ne.jp/~lemon-en/>
<http://blogs.dion.ne.jp/nengo/>

瀬戸内海に浮かぶ「青いレモンの島」上島町岩城島へ6年前に移住した古川泰弘さん。レモンをはじめとするかんきつや露地野菜を生産・販売する「Blue Lemon Farm」を設立し、こだわりの“脳”業を続けています。

もともと移住を考えていた古川さんは、京都からたまたまこの島に遊びに来た際、「青いレモンの島」といわれるこの島のレモンが、普段何気なく飲んでいた焼酎に入っていたと知って「ここだ!」と、島での起農を決意。移住に際して必要な情報を得ようと、当時の岩城村役場を尋ねましたが、後日送られてきた一通の手紙には、「農業で生計を立て、住み続けることは簡単ではありません」と予想外に厳しい答えが綴られていました。しかし、もともと負けず嫌いだっただ古川さんは「何が何でも住んでやる!」と思いを一層強くし、奥さんの由希子さん、お母さんの信子さんとともに、見切り発車ともいえるかたちで島へ移住しました。

京都では、生活環境の整った都会で何不自由なく暮らしていた古川さんご夫婦でしたが、島に移住した当初は住む家も

積善山の山頂から広島県因島を望む



なく、風呂やトイレのない納屋生活という厳しいスタートでした。

しかし、農業研修中に「転がって売り物にならないから」と農家の方にタダでもらった島のみかんが、県外で飛ぶように売れたという体験に遭遇し、これが島でのビジネスを確信するきっかけになりました。

今では、農業を志す若い世代や島暮らしをしたい方などの農業体験も受け付け、さらに今後は島の活性化を目指して、グ

リーンツーリズムや観光を促進するためのNPO法人「豊かな食の島 岩城農村塾」を設立しました。

移住にあたって大切なのは、その地に足を運び、地元の人のお話を聞くことに尽きると古川さんは言います。気候や住んでいる人の気質などはインターネットでは分かりません。

「厳しいといわれる農業も、消費者が求めるものをいかに効率よく作るか、試行錯誤を繰り返しながら、考えて儲ける“脳”業に昇華できる」という古川さんからは、島を元気にしたいという強い気持ちと、農業に賭ける熱いがひしひしと伝わってきます。



◀京都の料亭に居ている、こだわりのサンチュ畑の前で



◀平成20年6月15日、池袋で開催された農業人フェアに出展



知っく!

愛媛暮らし応援制度

新規就農(漁)や定住をサポートしてくれる、各市町の主な支援制度をご紹介します。

新規就農(漁)支援/上島町

農林漁業インターン事業

上島町岩城総合支所 ☎0897-75-2500

- 対象** おおむね50歳以下
- 期間** 2年以内
- 研修内容** 上島町に10年以上居住し、農林漁業を営むこと
中核農家・漁家で、経営ノウハウや技術を習得
- 支援内容** 研修時:月額10万円の研修費を支給

新規就農支援/久万高原町

農業後継者育成事業

久万農業公園アグリピア ☎0892-41-0040

- 対象** おおむね50歳以下 **期間** 原則2年
研修終了後、久万高原町で就農すること
- 研修内容** 久万農業公園農業研修センターで、花卉、野菜の施設園芸研修、生産技術・農業経営に関する技術・知識の習得
- 支援内容** 研修時:月額12~15万円の研修補助
就農時:農地・低金利資金の斡旋、農業機械・施設のリース斡旋等

新規就農支援/内子町

新規就農研修支援制度

内子町農村支援センター ☎0893-44-2199

- 対象** 内子町外出身でおおむね60歳未満 **期間** 1年
研修後町内で農業に従事すること
- 研修内容** 農業経営や作物栽培を農村支援センターや先進的農家が中心となって指導
- 支援内容** 研修滞在施設あり(月額3万円)
※研修施設退去後、5年以上内子町で就農した場合、研修施設入居期間中の家賃相当額を奨励金として交付

新規就農支援/鬼北町

新規就農促進事業

鬼北農業支援センター ☎0895-45-2911

- 対象** 40歳未満 **期間** 原則2年
研修終了後、鬼北町で就農すること
- 研修内容** 水稲、施設園芸作物目(イチゴ、メロン、ミニトマト等)など、農業生産技術、農業経営の基礎を習得
- 支援内容** 研修時:町内出身者12万円、1ターナー者15万円の研修補助
就農時:研修終了後、農業機械購入・施設建設に対して事業費の60%以内(限度額300万円)を補助

新規就農支援/松野町

松野町新規就農促進事業

(株)松野町農林公社 ☎0895-42-0344

- 対象** おおむね18歳以上、45歳未満 **期間** 2年
研修後町内に定住し、認定農業者を目指す者
- 研修内容** 水耕栽培研修
花苗生産研修
- 支援内容** 研修時:月額12万円
就農時:農地等の斡旋

定住支援/鬼北町

ニュータウン鬼北の里

鬼北町企画財政課企画係 ☎0895-45-1111

県外にお住まいの方は分譲価格を大幅に値引きするなど、定住促進のための支援が充実しています。詳しくは上記までお問い合わせ下さい。

町産材利用促進事業補助金

住宅主要部材70%以上使用する木造住宅について、住宅部分の床面積が66㎡以上のもので、材積1万5千円/㎡補助(補助限度額150万円)

太陽光発電利用促進事業補助金

住宅建築において、太陽光発電施設を整備するものについて、太陽電池容量1kwあたり12万円補助(補助限度額50万円)
※若者定住支援策として、年齢に応じた分譲価格を設定しています。

愛媛県の移住相談窓口

「愛媛ふるさと暮らし応援センター」では、2名の専任スタッフが「えひめ移住案内人」として、移住交流の様々なご相談に応じています。どんなことでもお気軽にご相談下さい。

愛媛
ふるさと暮らし
応援センター

[住所] 愛媛県松山市三番町4丁目10番地1
(愛媛県三番町ビル2階)
[受付時間] 月~金曜日・午前8:30~午後5:30
[電話番号] **089-932-7841**
[FAX番号] 089-932-7760 [Eメール] info@e-iju.net

愛媛県
東京事務所

[受付時間] 月~金曜日・午前8:30~午後5:30
[電話番号] **03-5212-9071**
[FAX番号] 03-5212-9072

愛媛県
大阪事務所

[受付時間] 月~金曜日・午前9:00~午後7:00
[電話番号] **06-6441-2829**
[FAX番号] 06-6441-2830

伊予銀行が愛媛県の 移住・交流をお手伝い

愛媛県への移住交流希望者を応援するため、伊予銀行の四国外支店26店舗に「愛媛移住・交流紹介コーナー」を設置しています。愛媛県へのU・Iターンを考えていらっしゃる方は、お近くの伊予銀行四国外支店の窓口もご利用下さい。



▲窓口のミニのぼりが目印

えひめの旬情報をメールで配信 えひめファンクラブ会員募集!

(登録費・会費無料)

えひめファンクラブ 検索

えひめに興味がある、えひめで暮らしたい、えひめを訪れてみたいと思われる方はぜひ登録を!ご登録いただいた方へは、市町の移住支援情報やイベント情報など、えひめの旬情報を電子メールでお届けします。